活動報告：生活環境部会

田んぼは生きています！

生活環境部会は、7月24日(土)に江刺区玉里の伊藤茂さんの田んぼを会場に「田んぼは生きています！」を開催しました。

伊藤さんは、農薬や化学肥料などは一切使用せず、冬期にも田んぼに水を張る「冬・水・田んぼ」を実践しています。“生きものが田んぼを耕し、土をつくり、生きものが天敵のバランスで稲を守り、光合成する植物が酸素を発生し水を浄化する”という仕組みで「すべての命」を活かす農法でお米を作っています。

当日は10名の会員の参加により、田んぼの生きもの調査や野草観察などをしました。生きもの調査では、昨年の『おうしゅう環境フォーラム 2009』で特別講演をした、東京都の「NPO法人メダカのがっこう」のメンバー5名も合流し、生きものについて詳しくご指導をいただきました。また、田んぼの周辺から採取した野草を実際に調理し、小屋に試食しました。参加者は、伊藤さんの田んぼの素晴らしさを実感したことでしょう。

シマヘビが蛙を食べてる!!

伊藤さんの田んぼにいた生きものは、トノサマガエル、ヤゴ、キイトンボ、メダカなどいっぱい!!

小屋は、無農薬玄米のおにぎりと野草料理にオオバコ茶などでした。

不法投棄物撤去作業

資源循環・廃棄物部会では、7月21日(水)に前回不法投棄現地調査を行った水沢区真城の高速道路側道入口に不法投棄された一般廃棄物の撤去作業を行いました。

当日は、会員と土地所有者を含む20名が参加し、各自が可燃物・不燃物に分別しながら回収作業を行いました。

不法投棄されごみは、空き缶や空き瓶が多く、中でもビールの空き缶

車両は水沢清掃公社さんの協力

や焼酎の空き瓶が散乱している状態を見ると、その場に車を止めて飲んでいいるのでは?…と個人のモラルを疑うような状況でした。

土地所有者の話によると数年前は電化製品も捨てられていたことがあるということで、不法投棄常習場所となっていたようです。

作業後は、不法投棄をしづらい環境にするため、付近の木の枝を切ったり下草を刈ったりしました。

その後、作業を行った場所に今後この場所にごみが捨てられないよう願いを込めて、部会で作成した不法投棄防止看板(右の写真)を設置しました。

今回の作業で現場から回収したごみは、燃えるごみ(木の枝含む)350kg、燃えないごみ90kg(バッテリー2個含む)、タイヤ16本で、胆江地区衛生センター等へ運び処理しました。

連日、暑い日が続く中での作業でしたが、無事活動を終えることができました。参加された皆さん本当にお疲れ様でした。

当日参加者された皆さん

活動報告：環境学習部会

水生生物調査

環境学習部会では、部会員を対象に「水生生物調査」を7月22日（木）に行いました。

水生生物調査は、採取される生物の種類から水質を調べるもので、今回は、環境学習部会内で水生生物調査について理解を深めようと企画したもので、水沢区小黒石の大久保川で調査を行いました。

部会員 16 人が大久保川の桜橋付近を調査。実際に川に足を踏み入れ、石をひっくり返したり、網で探ったり1時間ほど川に入って生物を採取し、生物の種類や数を調べました。

調査結果から「サワガニ」、「カワゲラ」や「カジカ」などの水のきれいな場所を好む虫や魚が多く見付き、水質の良さが確認されました。今回は県環境アドバイザーの大内浩生さんのご指導をいただきながらパックテストによる水質検査（pH、COD）も行い、川の状態について理解を深めました。

調査で見つけた生物と数

カワゲラ2、サワガニ9、ヒラタカゲロウ2、ヘビトンボ3、ヤマトビケラ 2、カワナ 15、コオニヤンマ 10、ミズスマシ2、カジカ 15、ハヤ1

会員紹介

『古代の流れ源流「網代滝」を守る会』

事務局長 千田正典さん

来年に10周年を迎える当会は、平成13年9月に網代滝の一般公開を致しました。当集落に、ほ場整備事業が導入されその年には農作業がありませんでした。この時こそ、まぼろしであった網代滝を整備しようと立ち上げました。

今では、網代滝までの道筋や河川の草刈等はもちろんですが、小黒石自然体験交流館（愛称「こぐりん」）の指定管理者や、こぐりんを基地とした「みずさわエコキッズ活動」の協働実施（奥州市生活環境課）をおこなっています。今年度エコキッズ活動は水沢区内小中学生36名が登録し、年13回の活動中9回が小黒石集落をステージに活動しており、水生生物調査や農林業体験、網代滝への探検や民泊など豊富なメニューの中で自然体験学習を行っています。また、こぐりんからは里山の原風景が、網代滝では夏の涼しさがそれぞれ楽しめます。

「低炭素社会に向けた12の方策」パート3

2050年時のエネルギーはどのように想定されているのかを示したのが下のグラフです。シナリオチームによると技術革新により経済成長を担保しながらエネルギーの需要は削減し、化石燃料への依存度を減らしていくとあります。化石燃料の代替エネルギーは何になるのかについては、人口密度や地域の特性に左右されるとあり早めに決定するのが望ましいと記述されています。

様々な技術革新を行い省エネを可能にした 2050年のエネルギーの需要と供給

ハッピーエコライフコーナー

先日、こんなニュースがありました。
 ある海鮮料理店の元従業員が、店内の生け簀に台所用合成洗剤を入れて、中の魚を全部死なせたというものです。何か恨みを抱いてのことこのようですが、台所用洗剤で魚を殺せると知っていたのですね。魚のエラを目茶目茶に破壊するのです。家庭で日常使われる台所用洗剤は、分解されないまま海に流れ込んでしまいます。するとどうなるか？あらゆる海の生物が影響を受けます。そして巡り巡って私たちの口に入ります。怖いことですね。
 その点、せっけんは自然界ですみやかにせっけんカスに変化し、毒性のない単なる魚のえさになります。安心安全にはやっぱり「せっけん！」ですね。 中井

ホームページをリニューアル！

会のホームページをリニューアルしました。会報ではお知らせしきれない活動の情報や写真なども掲載していますので、そちらもぜひご覧ください。
 ※Yahoo! や Google などから「奥州めぐみネット」で検索してみてください。

◇ 編集委員の独り言 ◇

今回は俺らしいの田んぼさ、いっぺえの人だちござったよ。俺らしいの田んぼは、絶滅危惧種の動植物が生息してるけど、なんと道路っばだなんかには生えでる黄色い花っこの特定外来植物「オオハンゴンソウ」めっけだのよ。早えぐやっつけねば！ 伊藤